古文教句

文曜文庫

新後拾遺
廣次の代、乃流とゝくみしてく
せえ犯てたまもうひそ〜絶
後拾遺雜五
まのひとの涙ちのそかうろ
せけとあのふろ月様り
大貳三位
古今雜下
あるろ川ふちみるあぬ我者も
せよかうのくあるそもろう
侍物
壬生二首中
乃る月の宗るる秋や京田川
せよろう涙け村及れ多
拾玉集近
紅ゝき乃恋ゝむ秋ゝ
せよろうくろ山せろん
新千雜中
ゝくれぬるのゝちゝ乃仏保
せよろうとゝもろ寺力せろう
風雜冬
水上ゝけ為ゝ乃ゝ山川乃
ちみゝもゝみちのゝ文ゝ乃
前関白
山家集上
あゝちゝろゝいゝゝ乃ゝ
せゝ乃涙風ゝ清ゝ乃
頌
拾遺雜賀
人もゝみぬ雪ゝ
せぬゝゝゝゝゝゝゝ
新古恋二
志乃ゝ君ゝ
せゝゝゝゝゝゝゝ
源乃右兵衛
藤文拾全の歌
後子恋一
乃乃ゝ乃谷川も
せゝゝゝゝゝゝゝ
花京乃教部
新千恋三
いゝゝ女人神ゝ
せゝゝゝゝゝゝゝ
杉後に経賢
同恋一
源川神ゝ
せゝゝゝゝゝゝゝ
僧侶
丹波乃
つゝゝゝゝゝゝゝ
習門院
玉葉冬
ゝゝゝゝゝゝゝ
平宗秀
新拾夏
ゝゝゝゝゝゝゝ

同上
後千載四
拾玉集二
金葉恋下
山家集下
古今集雑
後古恋一
新拾恋一
新拾春下
同恋一
新勅冬
新後恋
新拾恋一
新後恋一
後拾雑中
壬生二条中
新古恋一
月清集下

法師物たりとも
いかなる中河の水たに
ちとせをへぬる人の思ひ
玉津島
山川の
拾玉集
古今集
前右大臣
賀茂久世
後三位仲
拾中納言
如願法師
源重氏
源直氏
藤原為経
大納言
平経正朝臣
後二位為子
西園寺公道
後九条右大臣
順徳院御製
家隆卿

拾遺物名
拾遺愚草中
同上
壬生二条中
新古恋
新後古恋二
同恋下
玉葉恋
風雅雑中
後拾選歌
新後古恋
新後拾遺上
拾玉集五
月清集下
新古雑下
壬生二条下
新後恋六

山川のまもれとちとせ秋の
こ乃里り光をなせ
と山乃水
山風乃
又人も
山風の
又月
天川
あ
苦胸川
法乃水
山里は
後
度の
いつ
人
せけいふちとそ秋の
せきつる
せきつる宿
せきいる水
せきいれぬ
せきいれて
せきいれて
せきいれて

拾玉集上
俊撰歌合
俊拾遺歌二
新拾雫抄
後古今別
玉葉歌一
俊拾遺歌上
拾玉集二
新古雫抄
新俊拾歌一
俊拾遺別
後俊撰歌一
拾遺歌上
拾遺歌上
後俊撰歌三
玉葉歌上
拾玉集四
新後拾歌三

月清集下
多載歌一
新後古秋上
新拾歌四
拾玉集三
河内紀秋
拾玉集又
新千歌三
新拾雜上
新俊雫抄
新後古秋上
新俊拾歌二
後千歌一
新後古歌三
拾玉集又
拾遺歌四
後千歌二

壬生二月
俊撰卅四
新後拾上
拾玉集二
狩衣二
新千載
金葉秋
壬生二月中
千載百
玉葉秋下
壬生二月中
金葉百六下
新千載
俊撰卅三
新後拾冬
後古春上
壬生二月中
秋俊撰上

古今卅一
後俊撰卅二
後俊撰卅三
壬生二月上
後古雜
俊撰卅四
後古雜
新後拾卅四
雜俊秋下
俊拾遺雜
新後拾雜
同雜
俊拾遺卅一
拾玉集二
千載雜
金葉秋

金葉後拾遺
新千載巻二
新後拾遺
千載巻四
玉葉後
新後撰巻下
拾遺愚草
同中
後古今
後拾遺
風雅巻二
新葉巻三
月清集下
後千載
月清集下
新後撰巻一
千載巻四
新千載巻一

わすれじのあはれはいつのそらにかは
せきやすらひはのぬれぬれん
はるかぜはいかなるかぜか

新撰拾遺
秋古哀二
新拾雜別
同哀一
後拾遺哀二
後千哀四
新葉哀一
同哀二
後千哀又
新後拾哀
同哀一
後古哀傷
新千哀三
金葉冬
新拾哀二
新千哀三
後古賀
新拾秋上

せめて秋きぬとなるなれば
せめてはあきと思ふ
せめてわれもあきと思ふ
せめてつれなくあきぬ
せめてつれなくあきぬ
せめてつれなくあきぬ
せめてもあきぬ
せめてもあきぬ
せめても

壬生二条上　冬ごもれる氷のしたも玉結ぶ
拾遺恋四　春のなかばの年のこなたに
山家集下　ちりすてし人の心のあとをこそ
玉葉雑一　拾ひとどめし人のなごりを
同雑三　ちりすてし人の心のあとをこそ
風雅恋四　拾ひとどめし人のなごりを
山家集下　ちりすてし人の心のあとをこそ
新千載　ちりすてし人の心のあとをこそ
山家集下　ちりすてし人の心のあとをこそ
後拾遺雑上　ちりすてし人の心のあとをこそ
拾玉集一　ちりすてし人の心のあとをこそ
玉葉秋下　ちりすてし人の心のあとをこそ
山家集下　ちりすてし人の心のあとをこそ
金葉雑上　ちりすてし人の心のあとをこそ
拾玉集一　ちりすてし人の心のあとをこそ
壬生二条中　ちりすてし人の心のあとをこそ

永徳門院
選子内親王
後一位家良卿
道前大僧正
僧正行意
新宮門院
僧正行乗

山家集上　たつた川紅葉流れてよもすがら風うちふく
新千載賀　すゑの松山浪こえぬ
初音　ゆふ日さす雪ふる野べの若菜つみ
引かへられぬ年のあけぼの
風雅春　きぬぎぬ
同　吹ちらす猶の月かけ
新勅撰四　君まつとねやの
風雅夏　山ほとゝぎす
玉葉雜六　たつた川
風雅恋下　夢ぬしの
拾遺恋五　苗代
生二上　谷ふかみ
風雅夏　まちかねて
拾遺雜賀　松の
拾玉集二　あ乃
新千祝　秋代
拾遺冬　足
新千秋下　任
後千夏　足

新拾雜中　うらこぎ
風雅秋下　入
月清集下　すゑ
辰上　雲
風雅雜上　ふ
月清集下　草
新後秋上　な
後拾遺秋上　ち
千載冬　山
山家集下　百
千載恋上　恋
拾遺賀上　秋
後千夏　秋
拾玉集三　咲
新勅撰秋　月
玉葉秋上　唐
千載秋上　秋
後拾遺秋　ゆ

すそ野
すゑ野
すゑ野
すゑ

後拾遺春上
新古秋上
後拾遺雜上
後千秋上
新古賀
後古秋下
壬生二首上
月清集下
玉葉秋上
風雅雜上
新千恋上
拾玉集六
新千雑下
新後拾雑
新千恋四
大和物語
拾遺恋五
新雑下

浅みどり霞のうへのあさぼらけ
ゆきて山今日出づる人の
いとしさの秋ぞ
ぬれてぬるる山
ふるさと衣河
草枕ゆふ
衣めぬ
秋ぞ
雲の
秋乃
秋ぞ
みゆ
秋ぞ
みゆ
秋ぞ
今ぞ
世を
秋ぞ
いひ
つま
けふ
いと

すそのつきに
すそのつきに
すそのつきに

総　玉集六　月うけはさしいる秋の山もとに　すむ
新後古雑　絵屏風のうら山せ　とりまて　良経
新拾　分入そめぬ心乃月はとりもあへぬ　すむ
後撰　春雨門とそのこすえ　すむなるひとのとはて　九条右大臣
新後拾雑上　玉葉乃うれまくるる山里よ　すむなるひとのとはてを　信実
拾玉集三　雲も秋も思ひ入れぬ　すむ
山家集　雲のうへ　すむ
玉葉秋下　人もうらめしき秋の山乃まつ　すむ
長秋詠藻　さとり乃極さ　すむ
新後古雑中　立のゆく煙よ　すむ
玉葉雑一　ふるさとの宿よりつる月をとく　すむ
同雑　なくねたもよりやかき　すむ
新後古雑中　いくさとかれくるせ人　すむ
後撰　まれ雲の行ゆくまなと感　すむ
月清集上　ふしそう紀世乃永井宿　すむ
玉葉雑三　はなさいの効ありまし　すむ
新後古賀　むしろ四れいろあき　すむ
同雑中　方なのれいにいせる成　すむ

拾　思玉集　ありあけの　すむ
新後古雑　君ゆ守るかもの河波代　すむ
山家集下　ひく　すむ
新千冬　初時の雨乃山里いくもの　すむ
新古雑中　春秋をたのもと紀の山里　すむ
古今冬　白雪乃降てつもる山さとも　すむ
新後古雑中　人もまこと世をいとうもむさ　すむ
玉葉賀　乃とりの世をとる川乃清き　すむ
山家集中　うつめとりて月の新さ　すむ
新葉雑中　数なりぬ方とれく山乃紅葉　すむ
拾玉集三　雪うめてうつるも　すむ
新拾　なりあれいう今乃ありうつ　すむ
新千雑上　今乃よ年れくれて加りし　すむ
後撰　様乃ようなる乃ようれ　すむ
後撰雑秋　神めくもとはいかさ　すむ
古今雑上　さうれまれ年もゆう人乃　すむ
拾遺玉草上　嵐乃ふさうちう　すむ
後拾冬　降りしれ乃山乃うの数　すむ

西行法師
鳴雁法師
祐子内親王家紀伊
平貞時朝臣
後宮人
条々補歌
光俊朝臣
後拾遺
拾中納言
藤大納言
藤大納言
藤大

秋古雑下
同
拾遺六夏上
俊拾遺六三
拾遺雑五
風雑雑下
俊新雑上
玉葉雑三
新千雑下
風雑六
拾玉集七
千生二五中
拾遺六夏上
新千雑下
俊拾雑秋
拾玉集四
新勅雑二
千載六三

千生二五下
新千雑下
俊撰六三
月清集下
拾玉集七
同又
後拾雑下
玉葉雑一
拾玉集六
千生二五中
玉葉雑秋
月清集上
拾遺雑六
後千雑中
山家集上
後古雑中
新拾雑秋

月清集下
拾玉集二
拾遺集下
新後冬
慈鎮
新後拾秋下
玉葉冬
同旅
風雅集下
拾玉集六
千載雜上
壬生二品中
玉葉冬
拾玉集三
拾遺集雜中
拾玉集三
新勅秋上
新千雜下

今ゝ人名ゝ
ゝ宿紙人ゝ見まゝ山里ゝ
ゝ縁ゝ月ゝ
ゝ月ゝ
松ゝ
ゝ
ゝ月
月ゝ
ゝ
ゝ

仏位
山家集上
後撰哀三
後拾遺哀上
後撰哀中
千載雑中
玉葉雑哀
新古雑中
同尺教
新後拾哀
風雅雑下
後撰哀雑下
頃花雑下
新後拾雑下
風雅雑下
後拾遺哀上
玉葉雑哀
新古雑下
壬生二条中
玉葉尺教
後拾雑中
新葉雑下
拾遺哀中
玉葉雑哀
名習
拾遺哀上
風雅雑下
新葉雑下
後撰撰秋下
後拾雑下
新千雑下
新後拾雑上
風雅哀三
拾遺哀上
壬生二条中

あらてうたいくらくるまるとも
山家集上
後撰哀三
後拾遺哀上
後撰撰秋下
千載雑中
玉葉雑哀
新古雑中
同尺教
新後拾哀
風雅雑下
後撰撰雑下
頃花雑下
新後拾雑下
風雅雑下
後撰撰雑下
玉葉雑哀
名習
拾遺哀上
風雅雑下
新葉雑下
後撰撰秋下
後拾雑下
新千雑下
新後拾雑上
風雅哀三
拾遺哀上
壬生二条中

玉葉集下
玉葉集四
拾玉集四
新勅雜二
拾遺愚草上
新後撰秋
新葉秋
伊勢物語
後拾遺雜一
風雅雜下
新後撰雜下
金葉集二下
新續古今
後拾遺雜一
後撰雜下
新後撰雜下
同雜中
續古今
新古今四
後撰秋中
壬生二条下
白河
新古今
玉葉集三
新後撰秋下
後撰雜下

拾玉集四
同一
同一
新古雜下
山家集下
後撰拾雜下
新後撰雜下
新後雜下
同雜中
續古今
新古今四
後撰秋中
壬生二条下
白河
新古今
玉葉集三
新後撰秋下
後撰雜下

ありそうて波にくだけてとみるかな
今こそよいかの物ぞうつくしき
つちくれ今宮めぐりのうぶすなに
私の海はまちもなくあるものを
樵夫はなほまきかりくるの思ふ
思ふ事こそ社よいのりうん
昔みし事をこそ思ふあの松の
すきにけりしおいのみそ
すきにけるまのあしたそ
すきにけるとなる世
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし
すきにけるかたもなし

拾玉集一　あともなくさびぬるかとみるまでに
とりあつめて雪のあれはてぬる哉
於撰冬　すきぬるかとみるまでに
古今春下　みのの
新拾五教　なかれよりかはのせにかはる
新拾玉二　今きても涙なりけりいつかはの
玄玉集　すまのうらにとりあつめてし
新続古雅中　あの松の千年をへぬるとも月の
新続拾雅春　すきつるかとあらぬ
新続古歌　山ぬくるてきけいちるまに
拾遺会集上　うれしかるてみるかとみるまで
玄葉秋下　すきつるあとのうらの雲
拾玉集三　ちりぬるかとみるまでに
風雅雑中　まさるたるひすくるかとみるまで
続千載春　すきぬるかとみるまでに
新古歌上　ちりぬるかとみるまでに
拾遺会集上　すきぬるかとみるまでに
玄葉秋下　すきぬるかとみるまでに
拾玉集三　すきぬるかとみるまでに
風雅雑中　すきぬるかとみるまでに
続千載春　すきぬるかとみるまでに
新古歌上　すき

[illegible]
拾玉集五
玉葉和下
拾遺愚秋上
風雅秋下
続後撰秋下
拾遺愚草上
後撰秋下
壬生二条上
新古春下
拾玉集一
新千雑秋
後撰秋下
千載雑中
新後拾遺
風雑冬
新拾雑中

新千雑下
新続古春
新後撰春
古今雑春
山家集上
新千雑上
新拾雑中
古今雑下
新千雑下
壬生二条上
新古秋紙
新拾秋紙
新続古秋紙
拾玉集二
若葉
新後拾遺紙
風雅雑下
詞花集秋紙

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

松尾

張古雜中

同長慶

新張古雜中

張千雜下

拾遺愚草

同下

張拾尺教

拾玉集六

同

新拾雜下

[illegible]

月清集上

俊成卿

新張古雜中

拾遺雜下

拾玉集二

[illegible]

同七

同

拾遺貞丈

新張拾雜張

新勅雜張

拾玉集七

壬生二品下

新勅雜張

新張古雜下

張古春下

張拾秋下

山家集

張千雜中

壬生二品上

拾遺愚草上

張拾秋下

新千雜下

同

[illegible]

玉葉雜上
新拾雜中
続千載雜
拾玉集三
同
月清集上
金葉秋
続拾遺秋
新後撰中
千載秋
玉葉雜四
古今雜下
俊成卿女
山家集上
続拾遺秋
古今雜中
山家集下
長秋詠藻
拾玉集一
続千載下
拾玉集四
新勅雜三
壬生二首上
新後撰秋上
新後撰秋上
月清集上
拾玉集五
同雜
新千載上
新後拾遺上

新拾遺二　雜波浦入江の波のよるとあれど
いくよへぬらむ　[illegible]
新後撰古三　[illegible]
この春もとはれぬ身をなげきつ
新葉恋四　[illegible]
後撰拾遺傷　[illegible]
新古雜下　[illegible]
同秋上　[illegible]
壬生二条上　[illegible]
夫木雜下　[illegible]
新拾雜上　[illegible]
狭衣二　[illegible]
拾遺哀草上　[illegible]
拾遺貞外上　[illegible]
拾遺哀草中　[illegible]
拾玉集二　[illegible]
新後撰哀　[illegible]
同雜上　[illegible]
新千秋北　[illegible]

新千秋　今はいかにの[illegible]
山家集下　たちかへりかへりみるかな[illegible]
風雅冬　[illegible]
山家集下　[illegible]
風雅雜下　[illegible]
拾遺哀草下　[illegible]
新勅雜二　[illegible]
新後撰哀　[illegible]
千載哀張　[illegible]
同夜雜上　[illegible]
新古秋抵　[illegible]
新後撰哀張　[illegible]
夫木摘花　[illegible]
古今恋一　[illegible]
拾遺恋一　[illegible]
後古冬　[illegible]
新葉恋六　[illegible]
拾遺草一　[illegible]

[illegible]賀
横笛
風雅五教
新後拾遺上
後千秋下
後拾秋下
新勅四
後拾遺別
壬生二下上
拾遺哀上
後拾遺四
古今太京
後拾雑上
古今冬
拾遺冬
月清集上
新葉四
壬生二下上

[illegible]
後拾雑上
新葉秋上
後古器張
月清集下
後衣三
新葉秋上
後衣三
後千秋上
新千雑下
後拾遺雑
古今太京
拾玉集三
後拾秋上
拾遺哀上
風雅四三
[illegible]

新古雅上
玉葉張
孫子題二
玉葉雅三
月清集下
新古器張
玉葉秋下
新古雅上
孫子題三
月清集上
新古秋上
大和物語
孫古雅下
月清集上
新葉四張
拾玉集三
新古雅下

風雅題二
山家集上
月清集下
拾玉集七
月清集下
拾玉集七
壬生二月中
同
孫古非抵
風雅題二
古今冬
俊秋遺冬
風雅秋上
拾玉集一
壬生二月上
千載長傷
俊秋遺夏

拾玉集二
新千雅上
拾玉集四
拾遺愚草上
玉葉二
後拾雅上
新後撰二
玉葉二
新拾遺二
新千秋上
後拾撰歌上
同上
金葉二
拾玉集四
壬生二本中
風雅二
壬生二本中
拾玉集二
玉葉二
拾遺愚草上
月清集下
風雅二
壬生二本中
玉葉二
風雅二
玉葉二
風雅二
自上

新後撰雅上
新古二
壬生三本上
新後二
拾玉集六
拾遺愚草上
壬生二本上
拾玉集二
玉葉二
拾遺愚草上
月清集下
風雅二
壬生二本中
玉葉二
風雅二
玉葉二
風雅二
自上

新千載　春つかぜ　花の香ゆゑ　吹ぬれば　ゆくへ　しらぬ　ものとこそ　思へ

同夏　なつ　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく

新拾雜春　内も外も　ながめ　ながめ　ながめ　ながめ　ながめ　ながめ　ながめ　ながめ

山家集上　春ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく

同下　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく

風雅春　月　月　月　月　月　月　月　月　月　月　月　月

新拾夏　風　風　風　風　風　風　風　風　風　風　風　風

風雅夏　なく　なく　なく　なく　なく　なく　なく　なく　なく　なく　なく　なく

拾玉集四　庵　庵　庵　庵　庵　庵　庵　庵　庵　庵　庵　庵

新拾夏　山　山　山　山　山　山　山　山　山　山　山　山

寛文六丙午歳　五月日

西替町通二条

升屋彦右衛